令和２年度

第１回
庄内町総合教育会議

議　事　録

令和２年10月22日

庄内町教育委員会

令和２年度　第１回　庄内町総合教育会議　議事録

１　会議日程　　令和２年１０月２２日（木）
　　開会　　午前9時３０分
　　閉会　　午前１０時５５分
２　会議場所　　庄内町役場　B棟　会議室１
３　内　　容
　１　開　会
　２　あいさつ
　３　協　議
　（１）教育行政にかかる課題について
　（２）その他
　４　閉会
４　出席者（構成員）　庄内町長　原田　眞樹
　　教育長　菅原　正志
　　教育委員会委員　梅木　均（教育長第一職務代理者）
　　教育委員会委員　太田　ひろみ（教育長第二職務代理者）
　　教育委員会委員　齊藤　雅子
　　教育委員会委員　飯渕　義晃
　　（職員）　総務課長　海藤　誠
　　（事務局）　教育課長　佐藤　美枝
　　社会教育課長　鶴巻　勇
　　教育課長補佐兼教育総務係長　佐藤　正芳
　　社会教育課長補佐兼社会教育係長　阿部　浩
　　教育課指導主事　髙橋　一枝
　　教育課指導主事　富山　裕二
　　教育課主査兼学校教育係長　渡部　恵子
　　教育課教育施設係長　押切　崇寛
　　社会教育課文化スポーツ推進係長　池田　省三
５　欠席者（構成員）　なし
６　傍聴人　　なし

開　会	（午前 9 時 30 分）
教育課長	それでは 3 協議に入りますが、議長は町長にお願いいたしたいと思います。
町長	それでは、協議（1）教育行政にかかる課題について事務局より説明をお願いします。
教育施設係長	（GIGA スクール構想（ネットワーク等の整備状況）に関し説明）
富山指導主事	（学校での端末の使い方等に関し説明）
飯渕委員	デジタル化されることにより書くことが無くなる。記憶に残りにくくなるのでアナログの良いところを残してもらいたい。そういう指導要領等をつくってほしい。
富山指導主事	ノートでの指導を続けたいという先生もいる。書くことをメインとしながらも両方の良さを取り入れられるようなことをしていきたい。
梅木委員	来年の 3 月 31 日まで研修を終えて、4 月 1 日から授業に取り入れるという

	ことと理解してよいのか。
富山指導主事	12 月末までには機器が納入されるので、3 学期に研修を行い。3 学期中に使用しながら慣れていただき 4 月から授業に取り入れることとなる。
梅木委員	一つの単元にかかる時間、カリキュラムを改変していく等の対応は。
富山指導主事	新たにパソコン操作の時間を入れるのでは無く、今までやって来た授業の中で使っていくものです。
飯渕委員	緊急時の持ち帰りの際は、保護者が持って帰るのか、それとも子どもが持ち帰ることを想定しているのか。1 年生とかだとタブレットとはいえ、結構な重さがあると思う。落としたりして故障の心配があるのでは。
富山指導主事	画面保護シートを検討したが、結構予算が必要となる。タブレットは 70㎝の高さから落としても大丈夫なものであり、ランドセルに直接入れることが可能なので大丈夫かなと思っている。1，2 年生は保護者アンケートをしたが、家で使わせるのが心配だという保護者もいたので、その辺は学校と相談していく。
飯渕委員	学級閉鎖など学校で授業ができなくなったことを想定するのであれば、1，2 年生も対応できないといけないのではないか。
富山指導主事	校長会でも確認したが、小学校の低学年は紙ベースで対応したいと伝えている。各家庭の通信環境については、整っていない家庭もあるが、要保護、準用保護世帯については、貸出 Wi-Fi を用意している。小学校は基本紙ベースの対応で、参考にタブレット使用を考えている。中学校は、各自操作はできると思うので、環境が整っていれば授業等できると思う。
太田委員	活用については、ソフト面が重要だと思っている。先生方にとっては、得意な先生となじめない先生が出てくると思うが、使い方については教育委員会の方で研修など指導してもらいたい。
富山指導主事	慣れるまでは、時間がかかると思います。コツをつかむとわかりやすいので、各学校の情報担当主任等にレクチャーをすれば、その先生が中心となって学校の中で教え合いなどできるかと思います。
町長	先生によって差はでてくると思う。個別にアドバイスできる体制をつくっておいた方がよいと思う。全体を指導できるアドバイザー的な存在が必要ではないか。何か国の補助などあったのではないか。
富山指導主事	今年の３月までは、アドバイザーについて国の補助がありますが、４月以降は想定していない。
町長	本当に必要なことであれば、予算を確保してやっていくべきだと思います。全国的な動きですので、我々も国に対して要望していくので、お金がないからやらないではなくて、有効に活用していくための経費として考えていただければと思います。
教育長	２億近いお金をかけるので、それに見合うだけの効果があればと思っている。12 月に端末が届いて 3 月末までを研修の期間としているわけだが、その間は、業者の方がアドバイスしてくれるが、４月からは、国で何かしらのフォローがあればと思っている。町で採用している学習支援員が各校に一人ずついるわけですが、一人は英語専門の先生もいてくれているし、同じようにＩＴ教育専門の先生から一人来てもらうのもありかなと思う。その辺は、お金もかかることなので工夫していかないといけないと考えています。 もう一つは、今の説明を見て、操作の次に移る時間で少し間が空いてしまうと、小学生は集中力が切れるかもしれないと思いました。授業していく中で、

	授業内容よりもパソコンの操作に夢中にならないか心配なところもある。例えば、地図帳などページをめくってたどり着ける学習などアナログな部分の良さなど、工夫が必要だなと思いました。
富山指導主事	操作のタイムロスについては、全国的にも課題となっています。地図帳はもちろん使いますが、地図帳にはない衛星画像とか、庄内町の拡大図などのパソコン内の情報を利用し、アナログとＩＣＴそれぞれの良さを活かしていけたらいいと思っています。
町長	是非、そうなるようにお願いします。
飯渕委員	エラーが起きたときとか、停電の際の想定とか、ネットワーク障害の対応などはどう考えていますか。
富山指導主事	教科書がすべてデジタル教科書になると大変だが、今のところ紙ベースの教科書を使うので、そこは大丈夫かと思いますが、今後、すべてデジタル教科書に移行した場合は対応を考えないといけないかと思っています。
飯渕委員	不慮の際を想定して、なるべく早く対応マニュアル等をつくっていただければと思います。
齊藤委員	パソコンを使うと目が疲れます。子どもたちがゲームをするにしても時間を制限したりしていますが、ブルーライト用のメガネをかけるなど、何かそこについては対策などを考えていますか。
富山指導主事	目の保護シートを導入したかったのですが、高額のため導入を断念したところです。
町長	GIGA スクールに関してはこのように進めていくということで御理解をいただければと思います。では次に「子どもの安全確保について」事務局から説明をお願いします。
主査兼学校教育係長	（スクールバスに関し資料に基づいて説明）
教育課長補佐兼教育総務係長	（熊の出没状況に関し資料に基づいて説明）
飯渕委員	狩川地区の東本町が冬季スクールバスにならないのはどのような考え方ですか。距離的には桑田とほぼかわりませんが、桑田は冬季スクールバスとなっています。
教育課長	桑田は、田んぼの脇が通学路となっており、冬期間は吹雪の影響を受けやすくなっています。それを考慮しての運用となっています。なお、東本町からも要望があれば検討していきたいと考えます。
齊藤委員	保護者によっては、自分たちも歩いて鍛えたから歩かせたいという方もいらっしゃいます。ただ、やはり安全面で心配する保護者の方が多いのだと思います。朝は見守り隊の方々がいますが、帰りはいません。なので、地域の方々が下校時間に家の前だけでも良いので見守ってくれるなどの取り組みができれば、必ずしもスクールバスが必要にはならないのかと思います。
教育課長	スクールバスの要望があった地域の方々と話し合いをさせていただきましたが、やはり若い世代の保護者の方から、不安だという声をいただきました。しかし、スクールバスを利用しても、その子が必ずしも安全だということはなく、どうしても一人になってしまう時間があるという説明をしています。その中で、たくましく自分のことは自分で守るということも教えていかなければならないと思います。
教育長	通学路の安全については、いろいろな課題がありますが、来年度から始まる

	コミュニティスクールを活用して学区ごとに検討していただきたいと思います。熊の件は、教育委員会だけでは対応できないので、対応策を環境防災課などと相談していきたいと考えています。
閉会	（午前10時52分）